

6/19 (土)
准教授 谷地 俊二



いろいろな場所の
環境リスクを同時に評価！

日本全国どこも同じ風景なんてことはありませんよね。
それと同じ様に、環境リスクは場所によって異なります。
しかし、たくさんの場所の調査は大変です。
今回は、データ分析技術による
多点同時評価を体験してみます。

アンケートの
カラクリの謎を解こう！

世論調査など、社会調査で使われることも多いアンケート。
しかし、そのアンケート調査、本当に正しいのでしょうか？
実際にアンケートに答えてみながら、
アンケート調査の「正しさ」を見つけていきましょう。

7/4 (日)
助教 谷川 彩月



7/18 (日)
講師 小谷 博光



世界の食事から
環境と社会について考えよう

世界中で日々食べられている食事から、
各国の自然環境や食料事情、
栄養事情や貧困などについて体験的に学びます。
また国際協力という視点から、
現地の環境に適した
持続的な解決策を考えてみましょう。



8/22 (日)
教授 薄井 智貴



地球一周空の旅！
僕らの地球を俯瞰しよう

デジタル地図の登場によって、
環境、生態系、防災、交通、歴史、地球上のあらゆるものが
地図上に表せるようになりました。
今、地球で何が起きているのか、
Google Earthを使った地球の旅にご招待します。

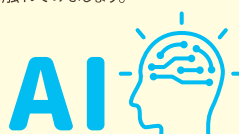


8/1 (日)
教授 平山 高嗣



人間と環境を認識する
人工知能の視覚

超スマート社会ってどんな社会？
人工知能が環境の状態と人間の活動を
認識することで、私たちがサポートするような社会です。
コンピュータの目が
何を認識できるようになっているのでしょうか？
最新の技術に触れてみましょう。



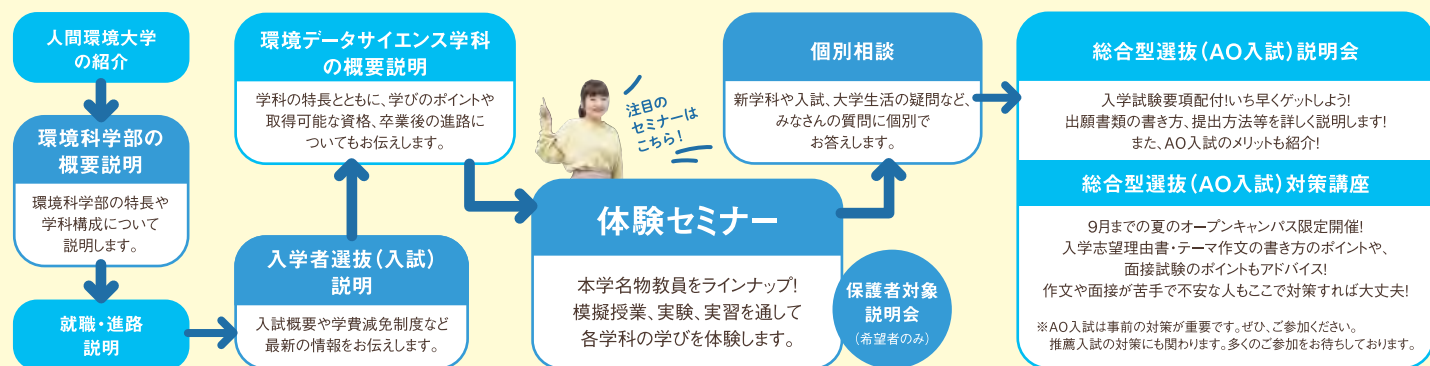
名物教員が勢ぞろい！
オープンキャンパス

**OPEN
CAMPUS**

登食付き 入試対策問題集配付 保護者の参加も大歓迎！

環境データサイエンス学科の
学びを体験しよう！

PROGRAM



データ菜園、オズ??

私たちの身の周りには貴重なデータがたくさん存在して、
私たちはそれらを活用して生活を営んでいますよね。
これって、世の中は菜園のようであって、データは作物のようにも捉えられませんか？
より品質のよい有用なデータを「世の中菜園」から見つけ出し、
データに合った調理を施して、おいしくいただきましょう！
環境データサイエンス学科では、世の中のデータについて、
その収集方法から解析方法、活用方法までの全てを、実践的な学びを通して身につけます。

社会環境領域

データを収穫する

データとして認識されていない
事項をデータとして
捉えることができるようにしたり、
より信頼性の高いデータとして
世の中から収集したりします。
見えないもの見える化・
客観化することで、
偏見や思い込みの少ない
より真っ当な議論を可能とし、
よりよい社会形成に貢献します。

社会環境領域

経済学ゼミ



経済的発展と
環境保全の両立を目指す

- 環境経済学入門
- 環境エネルギー論

国際協力ゼミ



国際的な開発や
食料安全保障、
グローバル化について学ぶ

- 国際協力論
- 環境と開発

企業経営ゼミ



企業経営における
持続可能な発展に
ついて考究する

- サステナブルマネジメント
- 経営データ・ESG投資分析

社会・農村ゼミ



社会科学の観点から
環境問題に取り組む

- 社会環境調査概論
- 環境社会学

環境情報領域

都市環境ゼミ



スマートセンシングにより
都市・環境問題を読み解く

- データサイエンス概論
- 環境データ循環学

人間環境ゼミ



画像認識技術・
視覚情報処理により
人の活動を支援する

- 環境ビッグデータ解析
- 人工知能と機械学習

自然環境ゼミ



人間活動による
環境負荷を解析し、
人と自然の共生を目指す

- 環境リスク概論
- 物質循環解析

環境情報領域

データを調理する

世の中から集めてきたデータそのものは、
そのままでは直接的に私たちの生活や環境を
よりよくするものではありません。
そのデータが何を意味していて、
どのような解析を行うことで
有益なデータとなりうるのかを見極め、
実施する能力を身につけます。



データを理解し、 解析する力をじっくりと身につける

人間環境大学は、数理・データサイエンス・AI教育の全国展開を
目指した「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」の連携校
として参画しております。その活動の中心を成す環境データサイエンス
学科は、情報系学部のカリキュラムを参考に、社会で必要とされる学び
の内容を厳選して授業科目を構成しています。情報学に係る基礎的・
専門的な知識と技能はもちろん、ロボット遠隔操作、スマートフォンプ
ログラム、AR/VR、IoT、機械学習などの先端技術まで学びます。さらに、
知識や技能を身につけて終わりではなく、それらを環境問題や社会的
課題の解決に向けて、どのように活用していくかについても実践的に
学び、卒業後、社会で即戦力となる人材を育成します。